



# おち あい しん ぞ 落合慎悟県議

静岡県議会報告  
2017年6月号

静岡県政に対するご意見  
ご要望をお寄せください。

# 静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

# おち あい しん ぞ 落合慎悟



## 参加者募集 静岡県議会 傍聴 (落合慎悟県議質問)・県施設見学会開催

日程 7月20日(木)

参加費1人2千円(バス・昼食代)

募集120人 申込順 申込締切 7月10日(月)

申込方法 落合慎悟事務所

電話054-645-8100 FAX 054-645-8111

09:00~09:30	藤枝市内各地出発
10:30~12:00	(予定) 県環境放射線監視センター(静岡空港) 又は富士山世界遺産センター(建築現場)
13:00~14:00	県庁で昼食・写真撮影
14:15~15:15	落合慎悟県議質問傍聴
16:30~17:00	各地帰着

### 本会議 質問内容(変更になる場合もあります。)

1. 静岡県地震・津波防災対策 (特色ある熊本県の地震後対策・高知県の津波避難対策を参考に)
2. 環境課題対策 (トランスや安定器のPCB廃棄処理費用問題・空調機器フロンガス処理対策の充実)
3. 鳥獣被害対策 (県内の被害状況ととももしか生息数の状況と捕獲許可について)
4. 地域医療構想と地域包括ケアシステム (高度急性期・急性期・回復期・慢性期の病床再編経過と課題)
5. 自治体のクラウドファンディング(ふるさと納税とクラウドファンディングで地方自治体の発展を図る)
6. 茶業政策と小中学校茶愛飲条例 (茶産業課題と条例[小中学校806校に茶提供・体験活動は公平に])
7. 特別支援教育 (共生社会に向けたインクルーシブ教育[特別支援学級増える在籍者・多様化する障害])

### <2015年6月実施の議会傍聴と静岡空港視察>



バスで県内視察します。

### 5/11 監査と結果報告『県バス協会の理事の県立高校教員への給与等支給に関する住民監査請求』



2月監査協議会で静岡県バスケットボール協会に支払った補助金返還の住民監査請求を棄却時に、余剰金問題調査、補助金交付事務処理の念入なチェックに努めるよう監査意見を付けた。県の調査結果から、3月県知事が協会には是正勧告した。その勧告内容と独自に入手した協賛広告請求書の架空名義書類から担当した高校教諭に対する処分と給与返還請求が提出された。

監査対象事項は①「違法もしくは不当な金支出」は存在するか?  
②「違法もしくは不当な財産の管理を怠る事実」は存在するか?

4月24日 請求人、教育委員会双方の意見陳述を実施。  
その後、教育委員会から平成10年当時資料が見つかり、架空名義でないことを確認。  
5月11日 監査委員協議会を開催

- (1) 監査対象機関が高校教諭を懲戒処分しないことが違法もしくは不当と認められない。
  - (2) 懲戒処分のない高校教諭に給与支給は「違法もしくは不当な金」支出に該当しない。
  - (3) 給与は不当に取得していない「違法もしくは不当に財産の管理を怠る事実」は存在しない。
- 結論 県が損害を蒙っているとは言えない、請求人の主張に理由があると認められない。

### 6/13 中部電力上越火力発電所視察 新潟県直江津にある中部電力の火力発電所で主には長野県の電力を賄う。ガスも販売する。隣地は東北電力用地。



LNGガスタンクは3基 LNGタンカー専用栈橋 発電所全部の排気塔 発電所長から説明を聞く ガスタービン発電機 ガスタービン発電機

## 落合慎悟事務所

〒426-0031 藤枝市築地838

TEL 054-645-8100

FAX 054-645-8111

メール s.o@thn.ne.jp

http://www.ochiai-shingo.jp



天草「宮地岳かかし祭り」を見学、今年のテーマは「宮地岳かかしハイヤ」昔懐かしい風景の中、320体のかかしが宮地岳の春を告げるかかしまつりは今年で4回目。かかし達がシゲ待ちの船乗り達をもてなす酒盛りの席で歌われた「ハイヤ節」を披露。3月26日～5月7日まで開催された。

7月に閣議決定!!放棄地対策で規制緩和『農地を原則、企業向けに転用できるようにする』  
政府は農地法改正を改正し、農地を原則、企業向けの用地に転用できるようにする。高速道路のインターチェンジ周辺など事業環境に優れた立地に、商業施設や物流拠点の新設を促す。農家の高齢化で、優良農地でも将来的に離農者や耕作放棄地の増加が見込まれるため、地域の雇用の受け皿を増やし、地方創生につなげる。現在、荒廃農地は5年間で2割増え、16万haある。原則許可は第1種、2種、3種。原則不許可農地は甲種農地(過去8年以内に土地改良し、特に良好な営農条件を備えた農地)だけ。

福島第一原発事故処理 政府公表22兆円が日本経済研究センター発表では最大70兆円!!  
福島第一原発事故対応費用、当初、11兆円が22兆円と政府が公表した。今回、日本経済研究センターが3倍の70兆円と試算結果を発表した。「国民の負担が大幅に増加する」「国の原子力政策の見直しが必要」と提言された。  
私は、福島第一原発事故研究センターを視察し、研究者の説明で「溶け落ちた核燃料デブリの状態が把握できていない、探索ロボットを作り取組んでいるが、失敗の連続で先が見えない。高濃度の放射線で人間は近寄る算すらできない。」「取出し処理も現在の時点では、想像すらできない状況にある」ことを確認した。今回の政府や民間試算も想像での算出結果である。  
『地球を破壊し、生物を死する放射能を伴うウラン燃料を扱う』ことに節度を感じる。

浜岡原発の度重なる事故報告18件!!  
6月13日の中日新聞に浜岡相次ぐ事故・トラブル昨年18件「停止中で気が緩む?」の見出し記事が掲載された。中電から一般向けには公表されていない。放射性物質を外部に排出するために使う4号機の装置「非常用ガス処理系」でのトラブル。放射性物質を原子炉格納容器に閉じ込めるための隔離弁が取り外され、2016年9月から今年4月まで使えない状態になっていた。  
中電はこの約7カ月間、装置が使えないものと誤認し、16年10月に国際原子力機関の査察対応のためウラン・プルトニウム混合酸化物(MOX)燃料をプール内で移動する作業をした。同年9月以降、7回実施した定期検査でも異常に気付かなかった。  
規制委員会は原子炉施設保安規定の3段階で2番目に重い違反だと判定。中電は部署間の意思疎通不足と原因を説明している。意思疎通不足のミスはこれだけではない。2月には3、4号機のフィルター付イベントの設置工事でベント室の配管を支える金具計119個が、設計と違う取り付け方と問題を発表した。(ボルトがコンクリートの鉄筋に当たって入らないから切斷した。非常識すぎ)  
私は、団塊世代の電験3種・電気工事士・給水工事の経験50年の技術者です。団塊世代の技術者達が今現場にいればこのような不備はなかったと思う。現代の技術革新は素晴らしい技術能力をほとんど必要となくなった。そのため、作業員はボタン操作や監督に特化している。しかし、実際の現場では豊富な知識と経験が必要で、「いざ事故発生!!」という時は、皆を守るため、知に物狂いで事故対策に取り組む必要がある。今の名ばかりの技術者にどれほど気概があるか「大きな不安」である。

『平成28年3月策定の浜岡原発災害広域避難計画を29年3月修正』!!  
我が国やIAEAでは、事故発生後の速やかな対策実施が重要で原子力災害に特有の対策を実施しておく範囲を2種類定めている。原子力発電所に近い範囲(PAZ)では、大量の被ばくはさせないとの考え方に基き、原子力発電所が予め定めた放射性物質の放出に至る可能性のある状態に該当する場合、放射性物質の大量放出前に避難することを原則とする。  
PAZの外側に設けられた範囲(UPZ)では、少量の被ばくは甘受するものの被ばくによる健康影響と対策実施のデメリット等の両者を鑑みて対策の実施が望ましいかの判断を行う。(放射線防護の原則:正当化)。ただし、その際には、被ばく量を合理的に可能な範囲で最小限に抑えることが求められており(放射線防護の原則:最適化)、これらの原則によって、被ばく量を最小限に抑える。  
原子力災害広域避難計画の修正内容の一部概要は、原子力災害単独の場合は、(PAZ)御前崎市は浜松市、牧之原市は山梨県、(UPZ)藤枝市は神奈川県、焼津市は三島市など東部。大規模災害との複合災害の場合、(PAZ)御前崎市は長野県松本・長野地域、牧之原市は長野県佐久・上小地域。(UPZ)藤枝市と焼津市は埼玉県、鳥田市は東京都と協議している。  
今回策定した広域避難計画では、浜岡原発から31km圏に住む避難対象者は11市町の94万人で高齢者や障害者対策、避難バスなど移動手段、放射性物質汚染の検査や除染の作業員確保など課題が大きい。  
南海トラフ地震と複合災害の場合は、道路の破壊、津波浸水で通常の避難も困難である。自家用車での避難は大渋滞が必至である。

大震災見直し「大地震が起きるかも?異常な状況に備え、地震の切迫度に応じた防災対応」!!  
大規模地震対策特別措置法(大震災)見直しで内閣府が明示「想定される現象が発生した場合に混乱しない対応の必要性を明記」想定される異常なケースも「①南海トラフの半分が地震が起き、もう半分も割れ残る。②南海トラフでM7級の地震が発生。③東日本大震災時先行した現象が多種目で見られる。④東海地震の判定基準とされる前兆地帯が見られる。」場合である。このように4つの大地震予測ケースが公表された場合、このような不確実な地震発生予測で住民はどのように避難すべきか?県は広域避難先を決め、今後、避難先との協議を進めるとしている。広域避難計画はあまりにもスケールが大きな課題である。

昨年度は県監査委員を任命され、県の各部署、病院や警察、土木事務所、福祉センターなど出先機関の業務や執行状況、職員の仕事状況など普段は知らない事案も知ることができました。この経験・知識を県政政策に大いに活かしてまいります。県議として早10年経過しました。静岡県発展のため、今後とも皆様方のご指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 5月臨時県議会(5月18日) 議案と知事報告



- 県議から選任した監査委員、鈴木利幸・落合慎悟の両氏から退職届が出た。後任として吉川雄二・佐野愛子の両氏を選任同意を求める。
- 熊本地震犠牲者追悼式に参列し、犠牲者に哀悼の誠を捧げた。各市町や関係機関との連携強化を図り、命を守る危機管理に全力を挙げる。
- 6月17日エコパスタジアムでラグビー日本代表とアイルランドのテストマッチが開催される。本県のラグビー熱の高まりをアピールする。
- 浙江省との友好提携35周年の取組、4月5日浙江省代表團146人を迎え、記念式典を開催。11月中旬に本県代表団を派遣し、絆を深める。
- 先端農業の拠点「AOY-PARC」(沼津東海大学校舎)は夏の開園に向けて整備。備蓄の集積を図り、世界が認める革新的な技術開発を進める。
- 平成21年7月の知事就任以来、「富国徳の理想郷“ふじのくに”づくり」を基本理念に掲げ「主役はオール県民である」との視点に立ち、県民幸福度の最大化に向けて、自ら現場に赴き、現場で学び、現場に即した政策を立てる「現場主義」に徹し、県政運営に取り組んできた。日本の象徴である富士山を擁する地から、誰もが心の豊かさを感じ、多様なライフスタイルを選択し、幸せを実現できる、世界の人々から憧れを呼ぶ「ジャパニーズ・ドリーム」の拠点を作り上げていくため、引き続き全身全霊を尽くしてまいります。

### 6/12 柏崎刈羽原子力発電所視察



発電所では雪国での特別な対策(雪・雷・火災等)が講じられている。  
中部電力の案内で東京電力柏崎刈羽原発を視察した。現在の発電設備は1~7号機あるが、すべて停止中。発電所長から詳しい解説で「安全確保の考え方」[止める(制御棒挿入)・冷やす(冷却水循環)・閉じ込める(五重の壁)]、津波浸水対策・フィルタベント設備・代替冷却設備・建屋内水素処理設備・緊急電源設備について取組状況も確認した。  
中越沖地震、東北沖地震事故の教訓を踏まえた危険に備える安全対策に細心の注意を払っている。  
説明の後、原発内部を視察した。中央管制室、原子炉建屋の原子炉発電装置・燃料格納プール、タービン建屋では復水器等の設置状況である。最後に私から質問をした。もし制御棒が地震などで挿入できなかった場合の措置は?回答:原子炉内にホウ酸水を注入して中性子の活動を止める。



松島基地でブルーインパールの操縦席に搭乗させて貰った



松島基地の時藤基地司令と



橋本聖子参議院議員と



県立美術館のエジプト展は大人気だった



天草の宮地岳かかしまつりは320体のかかしが出迎える